

どうぶつとどんぐり

どんぐりはネズミやリス、イノシシやクマや鳥など、いろいろな動物が食べに来ます。

(大昔は人間も食べていました。)

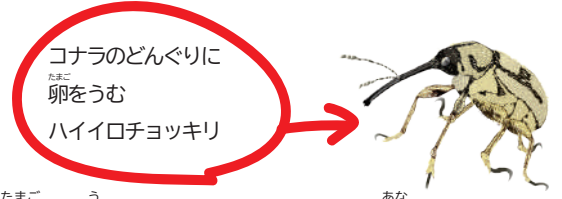
どんぐりには栄養が豊富なので、これから寒く、食べられるものが少なくなる季節をむかえる動物にとって大切な食べものなのです。



私たち人間にとって素敵な森の落としものは、どうぶつたちにとって命をつなぐために大事な役割があるのです。

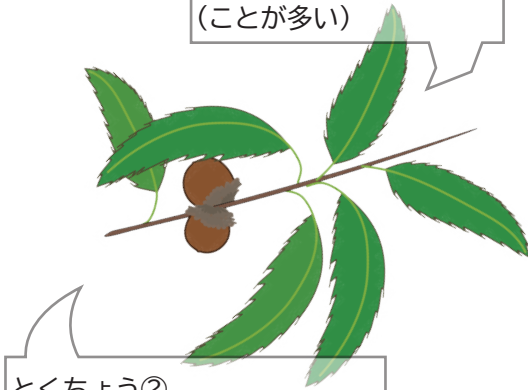
どんぐりの穴

どんぐりにはチョッキリやゾウムシという虫の卵が入っていることがあります。



卵を産むためにあけた穴はすごく小さいので、見分けるのは難しいのですが、下のような2つのとくちょうがあります。

とくちょう①
枝ごと地面に落ちている
(ことが多い)



とくちょう②
枝の断面がきれいに切れている

このようなどんぐりは土がある場所へ置いておきましょう。

ころころかわいい

どんぐりをかんさつしよう!



みんな1度は手にしたことのあるどんぐり。すごく身近だけど意外と知らないどんぐりの世界をのぞいてみましょう。

どんぐりって？

どんぐりという名前の木はありません。

下の写真のように、殻斗（いわゆる

『ぼうし』）がある木の実をまとめて

『どんぐり』とよんでいます。




かね がわ もり 金川の森にある

おもなどんぐり

見つけたらどのしゅるいか

かくにんして右上の口に✓してみよう！



ウバメガシ

- ・殻斗（ぼうし）がうろこ状で黄色っぽい毛が多い
- ・丸くて小さいかたち



マテバシイ

- ・殻斗（ぼうし）がうろこ状
- ・細長く大きいかたち



コナラ

- ・殻斗（ぼうし）がうろこ状
- ・かたちは丸かったり細長かったりいろいろ
- ・マテバシイより小さめ



アラカシ

- ・殻斗（ぼうし）がすじ状
- ・シラカシより丸い感じのかたち




シラカシ

- ・殻斗（ぼうし）がすじ状
- ・小さくてたまごのようなかたち



クリ

- ・殻斗（ぼうし）がトゲトゲしている（クリのイガ）
- ・三角に近いかたちが1つのイガに1～3つ入っている



クヌギ

- ・殻斗（ぼうし）は鳥の巣のような（長いものがたくさん生えている見目）
- ・大きく丸みのあるかたち